

# 人事と市場とのバランス

経済総合分析 木下博之

## 1. 目的

人や社会には、やる(＃)とある(＼)の二つの面がある(図 1.)。その両者の関係性につき社会調査を行いデータを集め分析しつつ、確かめていく。人事はあるの側面であり、市場はやるの側面である。この両面の仕分けが、混乱から解決への一歩となる。コンサルタントの役割とは、クライアントと伴走することであり管理することではない。その民主主義のディシプリンと対話しつつ、Lastscala と名づけた、やる、あるの社会調査、測定ツールを説明し、その見方を検証していく。

## 2. 方法

調査結果から、やる、あるの二面の PDCA の本質(B)、表現 (I)、実現(O)を算出し、グラフ化する(図 2.)。質問項目において、前者は論理的な、後者は感情的な装いとなる。ここから、いかに理解し、いかに共感するのが見えてくる。

## 3. 効果

やる、ある、をグラフによりダイナミックに表現できる。かみ合う、かみ合わない、惹かれる、惹かれない、のは、なぜか、どうしていけばよいのか、ということをつまえていくことができる。コミュニティにおいては自己理解によるヒーリング、チームにおいては、やるべき道筋を見通し共有することに役立つ。支える側と受け止める側の双方の関係の構築とそのバランスが、企業および人生を成功に、そして自己実現に導くといえる。

